

【専門研修の課題について】

1 課題書式

A4判縦長，横書き両面印刷1枚程度（上下左右余白20mm，1行文字数45字，行数は自由，資料等については過度の縮小を避ける）

受講番号（8桁）のみを記入し，学校名・氏名は記載しない。

2枚以上の場合は綴じる。

受講番号は，受講可否通知にてお知らせします。ただし，5年経
験者研修対象者は，5年経験者研修の受講番号を使用します。

平成31年度 ○○-○ ○○○講座○○○○コース研究協議資料

テーマ	○○○○○○○○○○○ - (副題) -
1 ○○○○	章立て
2 ○○○○	
3 ○○○○	
4 ○○○○	
⋮	

班名は，事前に指示があった場合のみ記入する。

個人情報の取り扱いに十分留意し，特に幼児児童生徒の個人名及び男女の区別は記載しない。

2 課題一覧（課題の作成及び送付に当たっては，必ず「1 課題書式」及び「3 送付先」の指示に従ってください。）

講座名	テーマ	章立て	提出期限(必着)部数	講座当日持参部数
53-A 国語科講座 小中学校コース	習得と活用を明確にした「読むこと」についての実践報告書 ※実践報告書(過年度実践可)	1 単元名と実践学年 2 単元目標 3 単元の評価規準 4 指導と評価の単元計画 5 本時の指導 6 単元の目標達成のために行った手だてや工夫 7 成果と課題	7月4日(木) 3部 ※講師送付用	8月9日(金) 35部
			【課題作成上の留意事項】 ※章立て変更可 ※何を習得させ，どのような活用の場を設定したか，分かるように記述する。	
53-B 国語科講座 高等学校コース	学習領域「読むこと」の指導の工夫 I 指導の工夫について協議するため，指定された教材(☆)について「読むこと」の「単元案・指導案」を作成する。 II 「バグダッドの靴磨き」(米原万里)において，何を教えたいかについて検討するため，事前に本文を読み，考える。 (Iについては，要提出，IIについては，提出不要)	I の「単元案・指導案」の様式は，『授業の手引き(高等学校国語科 平成27年度版)』の「単元案・指導案例」を参照する。 総合教育センターウェブページのトップページにある「教科・領域」の「国語」→「授業の手引き(高等学校国語)」→「単元案・指導案例」からダウンロードする。 ☆教材は，『夢十夜』(夏目漱石)の「第一夜」または「第六夜」のいずれかとする。	7月5日(金) 4部 ※講師送付用	8月19日(月) 45部
			【課題作成上の留意事項】 I 言語活動と評価に焦点化して協議するため，活動と評価の工夫について具体的に発表できるような案を作成する。 縦書きで記載する。 指導者の欄には，受講番号を記載する。 添付資料も含めすべてA4判とする。 複数枚となる場合は両面印刷とし，右肩を綴じる。 II 「バグダッドの靴磨き」については，以下の教科書・書籍に収録されている。当日持参する。 ○「新編現代文A」 ○「現代文B」 ○「標準現代文B」(以上 第一学習社) ○「それでも私は戦争に反対します」(平凡社 日本ペンクラブ編) ○「米原万里ベストエッセイI」(角川文庫)	

【専門研修の課題】

講座名	テーマ	章立て	提出期限(必着)部数	講座当日持参部数
54-A 社会科講座 小中学校コース	社会科の指導の工夫 ※本年度の実践または実践予定の学習指導案	1 単元名と実践学年 2 単元の目標 3 本時の目標 (本時○/○時間を明記) 4 学習指導案 (授業の流れ) ※本時の目標の達成のために工夫をした児童・生徒の活動や指導上の留意点の箇所に太い下線を入れる。 5 成果及び今後の課題	7月18日 (木) 6部	8月21日 (水) 小学校30部 中学校20部
54-B 社会科講座 高等学校コース	〇〇 (実践科目名) の指導の工夫 ※本年度の実践または実践予定の学習指導案	1 単元名と実践学年 2 単元の目標 (全○時間を明記) 3 (1) 本時の目標 (本時○/○時間を明記, <u>単元の山場の1時間を抽出</u>) (2) 教材 4 学習指導案 (本時の指導計画) 5 評価規準 6 手だてと工夫 (本時の目標の実現のために, どのような手だてを用い, 工夫をしたか) 7 成果及び今後の課題	7月18日 (木) 4部	8月22日 (木) 40部
			<p>【課題作成上の留意事項】</p> <p>『授業の手引き (高等学校地理歴史科・公民科 平成25年度版)』のp.7～p.9を参照する。 ※総合教育センターウェブページのトップページ下部にある教育コンテンツ→授業の手引→地公からダウンロードする。</p>	
55-A 算数・数学科講座 小学校コース	数学的活動を通じた授業づくり ※本年度の実践または実践予定の学習指導案	1 単元名と実践学年 2 単元の目標 3 本時の目標 4 指導過程 (授業の流れ) ※本時の目標の達成のために工夫した児童の活動や指導上の留意点の箇所に太い下線を入れる。 5 工夫した数学的活動の実際 6 成果及び課題	7月5日 (金) 3部	<p>【海部・西三河・東三河教育事務所管内の対象者】</p> <p>7月23日 (火) 50部</p> <p>【尾張・知多教育事務所管内の対象者】</p> <p>7月24日 (水) 55部</p>
55-B 算数・数学科講座 中学校コース	数学的活動を通じた授業づくり ※本年度の実践または実践予定の学習指導案	1 単元名と実践学年 2 単元の目標 3 本時の目標 4 指導過程 (授業の流れ) ※本時の目標の達成のために工夫した生徒の活動や指導上の留意点の箇所に太い下線を入れる。 5 工夫した数学的活動の実際 6 成果及び課題	7月30日 (火) 3部	8月20日 (火) 50部
55-C 算数・数学科講座 高等学校コース	数学的活動を通じた課題学習について	※章立ては自由であるが, 授業展開が分かるように「導入」「展開」「まとめ」のように分けて, 指導内容, 発問内容, 指導形態等を書く。 ※家庭等での調べ学習を取り入れたり, 複数時間にわたったりするような課題学習を提案する場合は, その展開が分かるように書く。 ※総合教育センターの算数・数学のウェブページを参考にする。	7月11日 (木) 3部	8月6日 (火) 68部

【専門研修の課題】

講座名	テーマ	章立て	提出期限(必着)部数	講座当日持参部数
56-C 理科講座 高等学校コース	理科における授業実践または教材開発 ※題名は各自30字以内で付けること。30字を超える場合は副題を設けてもよい。	1 はじめに 2 実践の目的(または、教材開発の目的) 3 実践の方法及び内容(または、教材開発の方法及び内容) 4 実践のまとめと考察(または、教材開発のまとめと考察) 5 今後の課題 ※A4判縦40行、横45字、両面印刷2枚(4ページ)以上4枚(8ページ)以内	8月7日(水)	8月21日(水)
57 生活科講座	生活科における授業改善 ※1学期の実践単元の学習指導案(評価計画を含む)	1 学年、単元名 2 単元目標 3 単元の評価規準 4 本時の指導 5 成果と課題 ※章立ては変更可	事前送付不要	8月19日(月)
58-A 保健体育科講座 小中学校コース	保健体育における授業に関する質問	1 ○○○○～～ ○○○○○～～ 2 ○○○○～～ ※「評価について」というような漠然とした事柄を書くのではなく、教えてほしい事柄を具体的かつ簡潔に文章で書き示す。質問の個数、分量は問わない。A4判片面1枚。	7月1日(月)	当日持参不要
58-B 保健体育科講座 高等学校・特別支援学校コース	保健体育における授業に関する質問	1 ○○○○～～ ○○○○○～～ 2 ○○○○～～ ※「評価について」というような漠然とした事柄を書くのではなく、教えてほしい事柄を具体的かつ簡潔に文章で書き示す。質問の個数、分量は問わない。A4判片面1枚。	7月1日(月)	当日持参不要
61 小学校外国語科講座	1 コミュニケーション能力の育成に向けた授業の工夫 2 小・小・小中の連携 ※当日は、右記の内容を基に、グループ協議を行う。	1 コミュニケーション能力の育成に向けて、普段の授業で取り組んでいること(具体的な指導例を示す) 2 小中接続の観点から、地区の小学校・中学校で連携していること、あるいは、今後連携していきたいこと ※章立ては自由。ただし、1については、指導案形式でもよいが、下記のことについては必ず触れる。 ○ 単元名 ○ 単元目標 ○ 本時の展開(児童の学習活動、指導上の留意点、評価の観点、評価方法等) ○ 成果と課題 ※1, 2を合わせて、A4判両面1枚程度とする。	6月24日(月) 4部	7月29日(月) 30部

【専門研修の課題】

講座名	テーマ	章立て	提出期限(必着)部数	講座当日持参部数
62 英語科講座	1 コミュニケーション能力の育成に向けた授業の工夫 2 中学校・高等学校の連携 ※当日は、右記の内容を基に、中学校・高等学校混合でグループ協議を行う。	1 コミュニケーション能力の育成に向けて、普通の授業で取り組んでいること（具体的な指導例を示す） 2 (1)英語科として、中学校と高等学校で連携していること（あるいは、今後連携していきたいこと） (2)中学校から高等学校、あるいは高等学校から中学校の英語科教員に聞きたいこと ※章立ては自由。ただし、1については、指導案形式でもよいが、下記のことについては必ず触れる。 ○ 単元名 ○ 単元目標 ○ 本時の展開（生徒の学習活動、指導上の留意点、評価の観点、評価方法等） ○ 成果と課題 ※1、2を合わせて、A4判両面1枚程度とする。	6月24日（月） 4部	7月29日（月） 30部
63 技術科講座	工夫・創造の能力を育む教材と評価 ※実践報告書（過年度実践可）	1 題材名 2 題材目標 3 題材構想 4 本時の目標 5 本時の展開 6 評価 7 成果と課題	7月4日（木） 5部	7月25日（木） 15部
64-A 家庭科講座 小中学校コース	題材開発と指導の工夫 ※実践報告書	1 題材名（対象校種・学年） 2 題材構想 3 指導の工夫 4 成果と課題 5 その他（質問など）	6月27日（木） 4部	7月24日（水） 27部
64-B 家庭科講座 高等学校コース	高等学校新学習指導要領解説家庭編の趣旨を踏まえた授業の工夫 ※実践報告書	1 実践学年・教科(科目)名 2 教科書及び使用教具 3 単元名 4 単元目標 5 単元の評価規準 6 単元の指導計画 ◆配当時間と本時の位置付けを示す。 7 本時の目標 8 本時の展開（生徒の学習活動、指導上の留意点、評価の観点、評価方法） 9 成果と課題 ※共通教科「家庭」、専門教科「家庭」科目を問わない。	7月11日（木） 2部 ※授業で使用したワークシート類も併せて送付する。	7月25日（木） 10部 ※授業で使用したワークシート類も併せて持参する。

【専門研修の課題】

講座名	テーマ	章立て	提出期限(必着)部数	講座当日持参部数
65 情報科講座 ※高等学校5年経験者研修対象者のみ、課題あり	新学習指導要領を見据えた授業実践事例の報告、その成果と改善案	※章立ては自由 ※授業展開が分かるように、題材名、目標、指導内容、指導形態など、簡潔な指導案として記載 ※複数の時間にわたる単元等を取り上げる場合は、全体の流れが分かるように記載 ※成果と改善案を明記	8月16日(金) 4部	8月23日(金) 20部
66 農業科講座	農業科における「深い学び」を取り入れた授業の実践報告 ※実践した報告または実践予定の報告	1 「深い学び」を取り入れ授業の学習指導案 ◆「深い学び」を取り入れるために、工夫した指導の箇所に下線を引くなど分かりやすく示す。 2 上記の授業を実践した成果と今後の課題	7月8日(月) 3部	8月9日(金) 3部
67 工業科講座	教科指導上の課題と方策	1 今までに実践した授業改善の事例(具体的実践事例) 2 今までに取り組んだ(開発・作成・改善した)実習テーマの事例 3 今後取り組みたいテーマ	7月11日(木) 3部	7月31日(水) 20部
71 福祉科講座	高等学校新学習指導要領解説福祉編の趣旨を踏まえた授業の工夫 ※実践報告書	1 実践学年・教科(科目)名 2 教科書及び使用教具 3 単元名 4 単元目標 5 単元の評価規準 6 単元の指導計画 ◆配当時間と本時の位置付けを示す。 7 本時の目標 8 本時の展開(生徒の学習活動、指導上の留意点、評価の観点、評価方法) 9 成果と課題	7月18日(木) 2部 ※授業で使用したワークシート類も併せて送付する。	8月2日(金) 2部 ※授業で使用したワークシート類も併せて持参する。
74 保育技術講座	1日目 一人一人の発達や遊びを支える保育者の援助や環境の構成	1 具体的な幼児の姿(幼児の年齢・時期・活動の様子など) 2 一人一人の発達や遊びの姿に対する捉え、幼児理解 3 保育者が行った幼児一人一人の発達や遊びを支える援助や環境構成 4 保育者が関わった後の幼児の姿から読み取れる発達及び幼児理解 5 保育者の関わりに対する評価及び反省 ※章立ては変更可。必ず、A4判両面1枚以内に簡潔にまとめる。	7月11日(木) 3部	8月2日(金) 8部


※課題の作成に当たっては、教科(科目)等の指示がある場合を除き、必ず「1 課題書式」(p.56 参照)に従ってください。

3 送付先

〒470-0151

愛知県東郷町大字諸輪字上鉾68番地

愛知県総合教育センター研修部企画研修室

	470-0151	愛知県東郷町大字諸輪字上鉾六八番地
「○○講座」	研修部 企画研修室	愛知県総合教育センター
「○○コース課題」	行	
在中		

必ず朱書きしてください。

※郵送料削減のため、他の研修・講座で来所する同所属の教職員による直接提出についても受け付けます。この場合は、研修部企画研修室（総合教育センター本館4階）へお越してください。